

創立60周年記念特集

岐阜大学は昭和24年に新制大学として発足し、今年で創立60周年を迎えました。これを機会に新たな気持ちで「学び、究め、貢献する岐阜大学」として本学の使命と目標を高く掲げて進んで参ります。

特集1 創立記念事業

岐阜大学創立60周年記念行事を開催

6月1日(月)、講堂において、学生・卒業生・教職員など約400人の出席のもと、創立記念行事を開催しました。

はじめに、森学長が「岐阜大学の現状と展望」と題し、教育研究、地域貢献、国際化など本学が取り組むべき課題と今後の構想についてあいさつしました。その中で「第二期中期目標として、1) 高度な専門職業人の養成、2) 生命科学と環境科学分野の成果を社会に還元、3) 地域貢献、4) 大学の国際化を掲げ、重点的に取り組んでいく」と将来構想を述べました。

続いて以下の行事を行いました。



名誉教授称号授与、職員表彰



ドリーム・プロジェクト表彰

株式会社コンテグ・アイの協力を得て「環境・健康」をテーマとするアイデアを募集し、コンテストを実施しました。応募総数9件の中から最優秀賞・優秀賞・優良賞に選ばれた3人に、賞状と賞金目録ならびに記念品を贈呈しました。



学生表彰

昨年度、各学部において極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた学業成績優秀者に表彰状と記念品を贈呈しました。



感謝状贈呈

本学の諸事業に多大なご支援をいただいている会社・財団・団体様に、感謝状と記念品を贈呈しました。



第2回国際交流

Convivial Meetingの開催

「中国の現状と高等教育のグローバル化」
于 氏(岐阜大学中国同窓会事務局)



「グローバル化時代の大学の国際戦略」
服部 誠 氏
(一橋大学国際戦略本部総括ディレクター)

服部 誠 氏

記念講演会の開催

「脳の機能としくみ:機能分子からシステムへ」
中西 重忠 氏
(大阪バイオサイエンス研究所所長)



ロゴマーク最優秀作品表彰

平成20年7月から10月まで、岐阜大学ビジュアル・アイデンティティとして大学ロゴマークを募集し、応募総数496点の作品の中から最優秀作品が決定しました。その作者である宮川ヒロミ氏に賞状と賞金目録を贈呈しました。



創立60周年を記念し、大学ロゴマークを制定

平成21年4月に大学ロゴマークを制定しました。

本学には現在も多くの方に長く親しまれている学章がありますが、創立60周年を機に、本学の特色や個性を社会に対してアピールするため、職員および学生が愛着と誇りを持てる本学の象徴として「ビジュアル・アイデンティティ(VI)」を定めることとし、「岐阜大学ロゴマーク」を募集しました。

平成20年7月1日から10月31日の間、広く全国から公募した結果、応募作品総数496点の中から、選考委員(24名)による審査、学内投票、役員会による審査を経て、宮川ヒロミ氏(群馬県)の作品が最優秀作品に選ばれました。

今後、学章は式典などの公式行事に使用し、ロゴマークは職員・学生が岐阜大学をアピールし印象づけるマークとして、学内外へ発信するすべての情報(印刷物・ポスター・封筒・名刺など)に使用していきます。



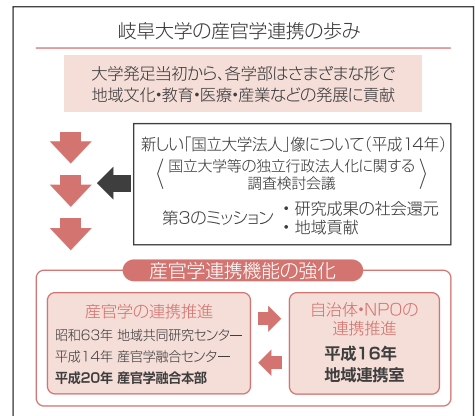
【解説】

岐阜の地での豊かな教育研究活動が日本全体、さらに世界へと発信されていくこと、そして、岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐ進むことを祈念してデザインされている。また、学章は力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形づくっている。

岐阜大学地域交流協力会記念講演会および 協力会フォーラム・交流会を開催。

5月20日(水)、じゅうろくプラザ(岐阜市橋本町)にて、岐阜大学地域交流協力会記念講演会および協力会フォーラム・交流会を開催しました。

はじめに、小森成一理事(学術研究・情報担当)から「岐阜大学の産官学の歩み」と題して、岐阜大学の60年の歩みやこれまでの産官学連携事業の展開について説明がありました。続いて、NHK岐阜放送局の青木希久子アナウンサーに司会を務めていただき、森秀樹学長と小川信也地域交流協力会会長(太平洋工業株式会社代表取締役社長)による対談を行いました。森学長からは本学の次期中期目標・中期計画などについて、小川会長からはこれまでの協力会の事業展開についての説明がなされた後、今後の岐阜大学の戦略として産官学連携・地域社会への貢献のあり方について熱く語りあいました。



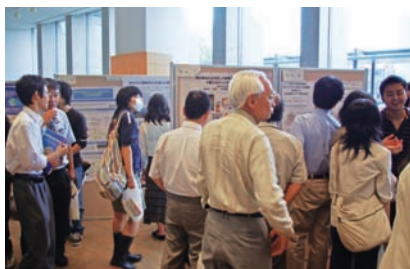
第16回岐阜シンポジウム「微生物-21世紀の社会と地球を支える立役者-」

本学では、環境およびバイオ・情報・教育などの21世紀の重要テーマについて積極的に取り組み、その成果を社会に発信することを目的として「岐阜シンポジウム」を年2回開催しています。16回目となる今回は創立60周年記念事業として「微生物-21世紀の社会と地球を支える立役者-」をテーマに、7月8日(水)、じゅうろくプラザにおいて開催しました。

日本微生物学連盟副理事長の富田房男氏による基調講演をはじめ、本学教員3氏による講演などが行われ、県内外から参加した約400人が熱心に聴き入り、活発な質疑がなされました。

ロビーでは学内の微生物学関係者によるパネル展示が行われ、大勢の方にご覧いただきました。

参加された方のアンケートからは「テーマが時代に合ったもので興味がわいた」「わかりやすい話し方だったので理解が深まった」といった感想をいただき、また「今後も社会に役立つ研究を続けてほしい」と大学への期待を込めた激励もいただきました。



【プログラム】

13:00 - 13:05	開会挨拶	森 秀樹(岐阜大学長)
13:05 - 13:15	趣旨説明	河合 啓一(応用生物科学部教授)
13:15 - 14:15	基調講演「限らない微生物の可能性を探る」	富田房男(日本微生物学連盟副理事長)
14:15 - 14:45	「食生活をささえる微生物」	長野宏子(教育学部教授)
15:30 - 16:00	「健康と病気と微生物」	江崎孝行(医学系研究科教授)
16:00 - 16:30	「環境を守る微生物」	高見澤一裕(応用生物科学部教授)
16:30 - 17:00	総合討論	鈴木 徹(連合農学研究科教授)
17:00 - 17:05	閉会挨拶	安田 孝志(岐阜大学副学長)